

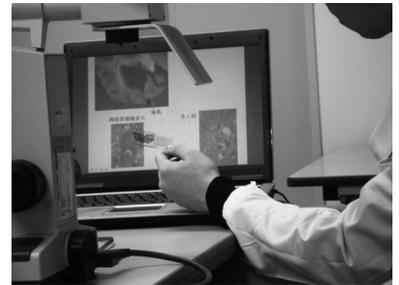
国立大学法人

新潟大学 脳研究所

会期：2012年3月27日（火）12：30～3月29日（木）11：00 2泊3日

新潟大学脳研究所は、昭和42年（1967）にわが国初の脳に関する国立大学附置研究所として設立されました。その母体は、昭和13年（1938）に発足した「新潟神経学研究会」（現在の新潟脳神経研究会）であり、日本で最も歴史のある脳研究所です。現在、脳の働き方や病気に関する多様な研究を行っています。

本プログラムは、新潟大学脳研究所で研究員や大学院生たちが取り組んでいる研究の一端に触れ、現代の脳研究が到達している地点とその問題点を学んでもらおうと計画されました。実際にヒトの脳を見てもらい、この器官が我々の心の場所であることを知ってもらいます。さらに、現在世界の先端で行われている脳研究に参加してもらい、研究の面白さや難しさなどを体感してもらいます。



会場

国立大学法人 新潟大学 脳研究所
新潟県新潟市中央区旭町通1-757
〔「新潟空港」よりJR「新潟駅」までバス約25分、
JR「新潟駅」よりバス約15分〕
URL：http://www.bri.niigata-u.ac.jp
宿泊場所：ホテルディアモント新潟（予定）

募集人数

8名

キャンプのプログラム内容（予定）

本キャンプでは、実際にヒトの正常脳と病気脳の標本を観察し、脳の形、機能との関連を実感してもらいます。その後、ヒトの心の動き（脳の動き）を画像化することにより観察できるfMRI施設の見学や専門の研究者からのレクチャーを予定しています。また、脳機能を細胞や分子のレベルで解析する手法について解説を行います。

さらに、小グループに分かれ、遺伝子組み換えや発生工学を用いて脳機能を研究する手法や、動物の行動解析の実際を学ぶほか、動物の脳から遺伝子を抽出したり、脳で働く分子の機能を電気生理学的に解析する実習にも参加してもらいます。これらの実習や講義を通して、脳研究がどのようになされているのかを理解してもらいます。

スケジュール（予定）

1日目 3月27日（火）

12:30～13:00 集合受付
13:00～14:00 開講式
14:10～15:40 脳研究所各部門の紹介と見学
15:50～17:00 講演（脳研教授による講演2題）

※この日のプログラムは本研究所で同時開催する「世界脳週間」の参加者と一部合同で行います。

2日目 3月28日（水）

9:00～12:00 講義と実習
12:00～13:00 昼食
13:00～16:30 講義と実習
17:00～18:30 講師等との交流会

3日目 3月29日（木）

9:00～10:30 実習のまとめ、ディスカッション
10:30～11:00 閉講式・解散

※1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

プログラムの関連図書、Webサイト紹介

【参考図書】

・「みる見るわかる脳・神経科学入門講座 前編 改訂版」
著者：渡辺雅彦 出版社：羊土社（3,780円）

・「脳方程式 いち・たす・いち」
著者：中田 力 出版社：紀伊國屋書店（1,890円）

【WEB】

新潟大学 脳研究所
http://www.bri.niigata-u.ac.jp